



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月8日

上場会社名 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3222 URL http://www.usmh.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上田 真
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理部長 (氏名)熊谷 直義 (TEL)03-3526-4766
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	163,052	—	3,525	—	3,506	—	1,652	—
27年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 1,831百万円 (—%) 27年2月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	12.55	—
27年2月期第1四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	257,042	130,400	50.5
27年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 129,768百万円 27年2月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	329,000	—	5,800	—	5,900	—	2,300	—	17.47
通期	660,000	—	12,000	—	12,200	—	5,000	—	37.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年2月期1Q	131,681,356株	27年2月期	一株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	5,138株	27年2月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年2月期1Q	131,677,786株	27年2月期1Q	一株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいております。そのため、様々な要因により実際の業績は上記予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましてはP. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

また、当社は共同株式移転の方法により、平成27年3月2日付で(株)マルエツ、(株)カスミ及びマックスバリュ関東(株)の完全親会社として設立されました。なお、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は共同株式移転の方法により、平成27年3月2日に、(株)マルエツ、(株)カスミ及びマックスバリュ関東(株)（以下「3社」といいます。）の共同持株会社として発足いたしました。当四半期決算短信は設立第1期として最初に提出するものであるため、前連結会計年度及び前四半期連結累計期間との対比は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、円安及び株高が継続し、雇用情勢の改善が進み、個人消費も持ち直したものの、国内の成長は力強さを欠き、依然として実体経済の先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループは、4月6日に、「統合シナジーによる新たな価値創造」を基本とする中期経営方針を策定し、4つの基本戦略の具現化への取組みを開始しました。その戦略は、①新たな商品価値の創造、②新たなサービスの創造、③次世代を担う人材の育成、④経営効率の改善であります。これらはユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)として、首都圏での経営基盤を確固たるものとし、そのための具体的な戦略的施策において統合シナジーの創造を図るためのものであり、その具現化のため、プロジェクト・チームを組成し推進してまいりました。

第1四半期においては、「商品」に関して、3社の共同調達による商品の原価低減に取り組みました。さらに、情報の共有化等により店舗の商品の品揃えの改善も図っております。また、販売促進等の「営業企画」では、3社共同販促企画を実施し、客数増に寄与しました。

その他、スーパーマーケット経営の根幹である、「人材育成」「物流」「システム」「店舗開発」「事業創造」等の領域でもプロジェクトを組成しており、今後もさらなる「統合シナジーの創造」に向けて取り組んでまいります。

主要連結子会社においては、(株)マルエツは平成27年度を「更なる『飛躍』に向けた『変貌』の年」と位置づけ、「競争力の進化」、「生産性の進化」、「マネジメント力の進化」に取り組みました。「競争力の進化」では、デリカ部門の強化に向け、主力商品のリニューアル等を行うとともに、中食市場の拡大傾向を見据え、価値と価値を追求した商品開発を推進いたしました。「生産性の進化」では、セミセルフレジ実験導入の効果検証結果を基に、導入店舗を拡大することにより、更なる店作業の軽減と人的効率の向上を図っております。「マネジメント力の進化」では、店規模タイプ別マネジメント体制を整備し、品揃え及びオペレーション等の確立に取り組みました。

(株)カスミでは、お客様の声に真摯に耳を傾け、対話と交流を通して地域の皆さまに「いいね!」と共感していただける店舗づくりを目指す「ソーシャルシフトの経営」に基づく取組みを推進いたしました。営業面では、自主自律型の店舗運営を志向するソーシャルシフト店舗を115店舗に拡大しました。店舗ごとに従業員が自主的に企画したイベントや売場づくりなどを社内フェイスブックにてリアルタイムで共有し、お客様目線の売場・サービス・情報・提案に取り組むことで、地域の中で「わたしの店」と感じていただける店舗づくりを進めました。

マックスバリュ関東(株)は、お客様満足の向上のため、既存店強化を図り、6店舗の売場変更を実施、また週単位でのお客様の生活行動に連動した品揃え、売場展開及び販促の強化を推進いたしました。また、青果部門とデリカ部門を重点強化部門に設定し、売場展開力の強化、品揃えの拡大に取り組みました。

当第1四半期連結累計期間において、新店は、3月にマルエツ プチ四谷二丁目店（東京都新宿区）、マルエツ大宮店（埼玉県さいたま市）、マルエツ新川崎店（神奈川県川崎市）、フードマーケットカスミ水海道栄町店（茨城県常総市）、フードスクエアカスミ越谷レイクタウン店（埼玉県越谷市）、ファミリーマートプラスカスミ八潮大原店（埼玉県八潮市）の6店舗、5月にマルエツ飛田給店（東京都調布市）、マルエツ新井薬師前店（東京都中野区）、マルエツ プチ花川戸二丁目店（東京都台東区）の3店舗、計9店舗を新設しました。一方、経営資源の効率化を図るため、4月にマルエツ上尾小泉店（埼玉県上尾市）、マックスバリュエクスプレス鹿骨店（東京都江戸川区）の2店舗を閉鎖しました。その結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、中国江蘇省の2店舗を含めまして488店舗となりました。

当社グループは環境・社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。5月には茨城県笠間市において「カスミ共感創造の森」第5回植樹祭を開催いたしました。また、食品トレー、牛乳パック等のリサイクル資源の回収も継続して行っております。

なお、当社グループはスーパーマーケット事業とその他の事業を展開しておりますが、スーパーマーケット事業以外のセグメントは重要性が乏しいことから、スーパーマーケット事業の単一セグメントとみなせるため、セグメント別の状況の記載を省略しております。

このような状況において、各施策に取り組みました結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、営業収益が1,630億52百万円、営業利益が35億25百万円、経常利益が35億6百万円、四半期純利益が16億52百万円となりました。

(参考情報)

主要連結子会社では、当第1四半期連結累計期間における㈱マルエツの単体の営業収益は892億68百万円(前年同四半期比7.9%増)、㈱カスミの単体の営業収益は607億86百万円(前年同四半期比8.3%増)、マックスバリュ関東㈱の単体の営業収益は120億29百万円(前年同四半期比5.2%減)の結果でした。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,570億42百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が362億88百万円、たな卸資産が159億36百万円など流動資産が763億33百万円、有形固定資産が1,130億89百万円、投資その他の資産が483億63百万円など固定資産が1,807億8百万円であります。

負債は、1,266億41百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金511億44百万円など流動負債が926億53百万円、長期借入金183億50百万円など固定負債が339億88百万円であります。

純資産は、1,304億円となりました。その主な内訳は、資本金100億円、資本剰余金1,043億19百万円、利益剰余金138億13百万円など株主資本合計が1,281億26百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では平成27年4月6日に公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間
(平成27年5月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	36,288
受取手形及び売掛金	549
たな卸資産	15,936
その他	23,649
貸倒引当金	△91
流動資産合計	76,333
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	59,545
土地	41,119
その他（純額）	12,425
有形固定資産合計	113,089
無形固定資産	
のれん	16,097
その他	3,157
無形固定資産合計	19,255
投資その他の資産	
差入保証金	34,713
その他	13,967
貸倒引当金	△317
投資その他の資産合計	48,363
固定資産合計	180,708
資産合計	257,042

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間
(平成27年5月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	51,144
1年内返済予定の長期借入金	12,650
未払法人税等	1,703
賞与引当金	3,324
転貸損失引当金	8
店舗閉鎖損失引当金	107
その他	23,714
流動負債合計	92,653
固定負債	
長期借入金	18,350
役員退職慰労引当金	308
転貸損失引当金	295
債務保証損失引当金	110
退職給付に係る負債	1,331
資産除去債務	4,258
その他	9,333
固定負債合計	33,988
負債合計	126,641
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	104,319
利益剰余金	13,813
自己株式	△5
株主資本合計	128,126
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	117
為替換算調整勘定	352
退職給付に係る調整累計額	1,172
その他の包括利益累計額合計	1,641
少数株主持分	631
純資産合計	130,400
負債純資産合計	257,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	159,495
売上原価	115,146
売上総利益	44,348
営業収入	3,557
営業総利益	47,905
販売費及び一般管理費	44,380
営業利益	3,525
営業外収益	
受取利息	20
受取配当金	5
その他	118
営業外収益合計	144
営業外費用	
支払利息	68
その他	95
営業外費用合計	163
経常利益	3,506
特別損失	
減損損失	112
店舗閉鎖損失引当金繰入額	47
特別損失合計	160
税金等調整前四半期純利益	3,346
法人税、住民税及び事業税	1,457
法人税等調整額	261
法人税等合計	1,719
少数株主損益調整前四半期純利益	1,626
少数株主損失(△)	△25
四半期純利益	1,652

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,626
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	116
為替換算調整勘定	△20
退職給付に係る調整額	106
持分法適用会社に対する持分相当額	1
その他の包括利益合計	204
四半期包括利益	1,831
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,863
少数株主に係る四半期包括利益	△31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、共同株式移転の方法により、平成27年3月2日付で㈱マルエツ、㈱カスミ及びマックスバリュ関東㈱の完全親会社として設立されました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が10,000百万円、資本剰余金が104,319百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

当社グループは、スーパーマーケット事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。